

中期経営計画<第73期~第75期>がスタート

社長・部門長と共に歩む新たな

「技術」「人」を育て

事業基盤の強化を図ることので

攻めと守りの両面をしっかりと形にする

代表取締役社長
松本 豊



M
a
t
s
u
m
o
t
o
Y
u
t
a
k
a

挑戦

8月1日から、当社の第73期および中期経営計画「75中期」がスタートしました。新型コロナウイルスが未だに世界の人々の生活や経済に大きな打撃を与えており、当社でも事業への取り組み方の転換期となっています。前期の振り返りと中期計画も踏まえた、今期の課題と目指すべき将来の姿について、社長に聞きました。

非常に多くの変化があった1年だったと思います。第72期の船出であった8月は、1日の新型コロナウイルスの国内感染者数が1,000人を超え始めた、いわゆる第二波の最中にあり、私たちを取り巻く事業環境や経済も先行き不透明で不安な状況にありました。

その後、鉄鋼業界においては、米中の貿易戦争とコロナ禍による一時的な停滞を経て自動車などの需要回復に伴い、最大のお客さまである日本製鉄(株)殿がV字回復するなど、当社の鉄鋼事業も好転に向かいました。また、半導体業界は、在宅勤務や巣ごもり需要などによって成長を続けており、半導体事業も着実に成長を継続することができました。

予測困難な1年でしたが、生産対応やコスト改善などを含めた社員一人ひとりの努力によって、当初の危機感を乗り

越えることができたことに感謝と誇りを感じています。

相互の声掛けと 個々の持てる力を結集させ 当社の進化につなげる

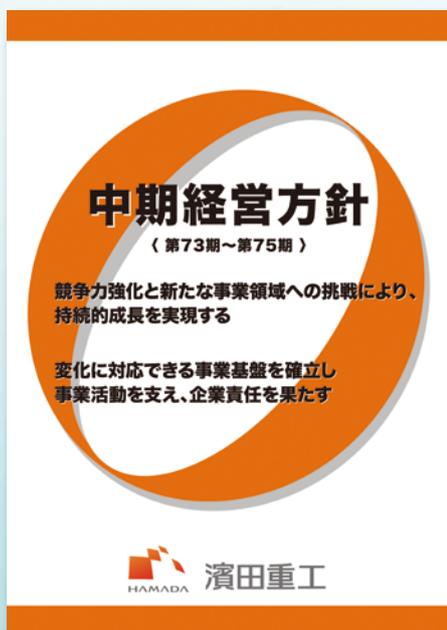
今回の中期計画は、大きく次の4点に集約できます。

1. 「技術」「人」の強化と競争力の発揮
2. 事業領域拡大と新規事業挑戦
3. 組織、体制、制度見直し
4. 「環境」に関わる保有技術適用・事業成長機会の模索と社会貢献

当社経営の根幹を支える「技術」「人」を育て、事業基盤の強化を図ることで、攻めと守りの両面をしっかりと形にし、また、カーボンニュートラル社会の実現に向け、日本製鉄(株)殿への協力に加

え、当社独自の活動も展開していきたいと考えています。そして、安全における基本の徹底やコンプライアンスの継続推進はもちろんのこと、社員一人ひとりが企業理念である「誠心」の精神を胸に、これらの施策に確実に取り組み、実践していただきたいと思っています。

私たちを取り巻く環境の変化は、未知のウイルスの出現により、ますます予断を許さない状況となりましたが、少しずつ明らかになってきていることもあり、この中期は、コロナ禍後の当社の立ち位置を左右する、非常に重要なものになると考えています。全社員が互いに声を掛け合って支え合い、それぞれの持てる力を結集させ前進を続ければ、必ずや新たなステージにつながるものと信じています。



中期経営計画

<第73期～第75期>
(2021.8.1～2024.7.31)

■ 企業理念

誠心

■ スローガン

誠心 OUR PRIDE

■ 中期経営方針

- ① 競争力強化と新たな事業領域への挑戦により、持続的成長を実現する
- ② 変化に対応できる事業基盤を確立し事業活動を支え、企業責任を果たす

中期経営方針ポスター

背景の0(ゼロ)は、災害ゼロ、交通事故ゼロ、コンプライアンス違反ゼロ、カーボンニュートラル(ゼロカーボン)をイメージしています。

変化に対応した部門長の次の一手

G
u
s
h
i
m
a

A
k
i
r
a

八幡支店長
具島 昭



強みを生かし
構造改革を推進

休業以上の災害ゼロと トラブル未然防止で高評価

表彰面では、昨年6月のコース比の新記録達成、今年3月のコース非微粘結炭比の全社新記録に関して、トラブル時の操業支援や設備点検強化によるものと所長から感謝状をいただきました。

業務面の総括としては、休業以上の災害ゼロを達成でき、①鋳銑量の新記録達成（昨年10月）や②新規橋梁分野での工事完遂と体制確立は、八幡支店の強さを感じるものでした。一方、製造実力向上面では、昨年に続き八幡圧延、戸畑・小倉クレーン亀裂発見および迅速な補修で所幹部・構外他社から高評価をいただきました。その実績が小倉クレーンの業務拡大につながっており、八幡支店の武器としてさらに強化していきたいと思っています。

暑い日が継続するなか、コロナ対策・熱中症撲滅の両立ができるように取り組んでいきます。

あるべき八幡支店像を見極め 安全・製造実力を向上

「**八幡支店の強みを生かし、構造改革を推進する!**」を合言葉に、次のことを実践します。

(1) 安全面

現場社員ならびに指揮者の若年化があらわになる中、管理監督者の指導力向上と安全感向上を目標としています。また、第73期も休業以上の災害ゼロを達成するために、6則違反撲滅活動を主体に、T.B.Mの質の向上を継続していきます。

(2) 製造実力向上面

九州製鉄所の立ち上げや八幡地区での小倉休止により、八幡支店は職場環境の激変が始まっています。支店事業の持続性を見極め、「一元管理」をベースに、落鉞関連（小修理班の増強）や発生ダスト管理の一元化などを推進中です。

新たな取り組みとして、バイオマスの

燃料供給事業やIT活用による業務効率化も推進中です。カーボンレス化や労働人口大幅減対策に貢献できるように、濱田重工としての対応に取り組んでいます。

Recent Favorite



クロスバイク

昨年手に入れたクロスバイクの付属品を次々と購入し、充実させました。直方北九州自転車道や遠賀宗像自転車道を走り、チャリダー*ライフを満喫しています。

コロナ禍で、昨年生まれた二人の孫になかなか会えず残念ですが、次の機会に紹介できることを楽しみにしています。

*チャリダー:「自転車乗り」の愛称

第73期のスタートにあたり、事業部門長に前期の振り返りと、「75中期」を踏まえた第73期の重点課題と抱負を聞きました。部門長の「新たな方針」をもとに、私たち一人ひとりが目標に向かって前進していきましょう。また、「最近のお気に入り」についても教えてもらいました。



光支店長
槇野 伸幸

第72期は無災害達成 3月からフル生産に対応

第71期までは3期連続でトータル6件の休業災害が発生してしまいましたが、第72期は無災害で終えることができました。ただし、軽処置災害が4件発生と、安全活動に一定の成果を上げつつはあるものの、まだまだ安全な職場が確立したとまでは言い難い状況です。継続して“安全に強い濱田”の実現を目指します。

前半まではコロナ禍の影響もあり、低生産が継続しましたが、今年3からはフル生産へと操業モードが大きくギアチェンジしました。その結果、利益計画に関しては目標を大きく上回る売上を達成できましたが、現場の作業負荷は急激に増加してきています。また温暖化の影響もあり、年々職場環境は厳しさを増しています。継続的な環境改善を進めていきたいと思っています。

無災害の継続と 効率的な業務運営を

第一に、無災害の継続を含めた安全の確保と職場環境の改善。幸いにも主幹の生産は好調で、当面光地区はフル操業が継続します。継続して作業環境の改善を図りつつ、安定生産に寄与できるよう支店一丸となって邁進します。

周南地区を合わせた山口製造所が発足して2年が過ぎ、両所の交流も進んできています。周南地区との操業比較なども行い、より効率的な業務運営が行えるよう工夫をしていきたいと思っています。また周南地区での仕事の受注も、少しずつではありますがスタートしました。濱田重工としての企業価値をPRする良い機会ととらえ、お客さまからの一層の信頼を得られるよう取り組んでいきます。

Recent Favorite



ドライバー、5番ウッド、パター

一昨年末に還暦を迎えた際の、家族(妻、3人の娘)からのプレゼントです。「これでスコアアップ!」とは、残念ながらならないところが悩みではありますが…。

君津支店長
中村 圭一



支店一丸となり
増産への対応力強化

君津支店のチームプレーで
操業対応力を発揮できた

第72期は、期当初の超減産から下期には急速回復となる大変動の一年でした。第72期計画の策定時には、超減産操業を前提としていかに収益を確保するかについて、実行困難と思われる施策まで含めて収益確保策として計画に織り込まねばならないという、大変厳しい事業環境でした。ところが下期には一転して増産モードとなり、現場での操業対応力が問われることになりましたが、このような難しい事業環境のもとにおいて、安全・生産・品質などの面で関係者の皆さまの期待に応えることができました。さらにコスト低減においても、超減産対応の中で意識を高めることができた生産・整備各課間の情報共有とチームプレーが、非常に大きな成果につながりました。

操業・技術改善を進め
ニーズに応えていく

厳しい事業環境の中、関係者の皆さまの要請レベルを上回る成果を上げることができたのは、直営・協力会社の皆さん一人ひとりの自覚と頑張り、現場管理者・スタッフ最前線の努力の賜物であり、支店長として心から敬意と感謝の意を表明いたします。

第73期は増産モードが継続しますが、主管の皆さまからのコスト低減要請のレベルはますます高くなります。私たちは第72期で培ったチームプレーの深化に加え、さまざまな操業・技術改善を弛ま^{たゆ}ず進め、これに応えていきましょう。そして安全面では、互いに互いを思いやり、自分の安全、みんなの安全をしっかり守る風土と意識を高め、完全無災害を達成しましょう。

Recent Favorite



メジロを守るベンジャミン

毎年6月末頃になると、玄関先のベンジャミンにメジロが巣を作り、子育てが始まります。約一カ月、無事に巣立つよう玄関の出入りにもハラハラドキドキです。メジロを守るわが家のベンジャミン、わが家で25年頑張っています。

お客さまの 高位安定生産に貢献



大分支店長
大塩 昭義

この一年「和」を重んじた 支店運営に感謝

第72期は、支店の重点目標である「365日無災害」を達成しました。ネガティブ事案もゼロです。

また9月には、支店開設50周年を無事迎えることもできました。前期は、新型コロナウイルス感染防止対策を鋭意継続しつつ、支店ファミリー全員による6則遵守、TBM-KYの実践徹底、着衣火災・熱水によるやけど対処の実演練など「安全文化の再構築」が着実に向上した一年になったと思います。特に着衣火災の演練において、被災者に直接バケツで水をかける、ペットボトルで手元・足元の初期消火を図るといった活動は、リスクの周知徹底、風化防止そして定着という点で大きな成果が得られたと思います。

この一年、コロナ禍の中、支店ファミリー全員が「和」を重んじて支店運営にご協力いただいたことに、あらためて感謝いたします。

安全の「自律的活動」と 「人」「技術」の強化へ

第73期の目標は、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策継続の下、支店ファミリー全員が健康で安全に過ごすとともに、安定操業を継続し、九州製鉄所大分地区の高位安定生産に貢献することです。そしてお客さまからさらに信頼され、選ばれ続ける支店を築いていくことです。そのためにも、安全に関しては管理者を含めた全員で「安全文化の再構築」STEP3すなわち「自律的活動へ」を目指します。支店運営に関しては「和」を重んじ互いに尊重し、仲間意識を強め人を大切にする「人」の強化と、高生産継続の下、設備の老朽化が進む中、操業・整備・設備技術向上など「技術」の強化を目指していきたいと思っています。

Recent Favorite



孫からの手紙

昨年1月2日に生まれた3人目の孫“凜乃葉ちゃん”からの手紙です。

コロナ禍でなかなか会えませんが私たち夫婦の誕生日、父の日、母の日には、手紙にシールを貼ったり、絵(線)を描いたり彼女なりの力作をくれます。

産機事業部長
北崎 美知



業界や顧客の
拡大に挑む

事業環境の変化に伴い 厳しい状況となった

第72期は不休業、軽処置、ヒヤリハット各1件と交通事故2件を発生させ、改めて安全活動深耕の必要性を痛感しました。事業面では長引くコロナ禍により満足な営業活動ができない状況下、鉄鋼各社の構造改革や追い打ちをかけるような脱炭素への政策転換により、案件が激減。さらには受注済の大型工事が中断になるなど、先の見通せない厳しい期となり、当事業部は大きな転換点に立たされることになりました。

ピンチをチャンスと捉え 「モノづくりは人づくり」に注力

第72期からの産機中期計画では
①売上・収益**安定** ②営業力・技術力**向上** ③安全・人づくり・働き方**改革**を

主要テーマに掲げております。全社の新中期計画を受け、第73期は営業領域を拡大し、これまで培ったエンジニアリング力を武器に、バイオマス、土木建設、セメント・資源など新たな業界や顧客へ果敢にチャレンジします。さらに脱炭素やDX(デジタルトランスフォーメーション)を意識した新商材開発にも取り組んでまいります。また「モノづくりは人づくり」に注力し、全員が人間力・仕事力を高め、無災害継続と受注高・収益の確保に邁進します。

したがって産機事業部の皆さんは、思い切った業務改善、さらなる効率化を図り「考える時間」を捻出し、これら課題解決に取り組んでいただきたいと思います。今は厳しいですが「ピンチはチャンス」と前向きに捉え、**安定・向上・改革**をキーワードに産機事業部一丸となって、この難局に挑戦し成長していきましょう!

Recent Favorite



メダカ

この春から、自宅ベランダでメダカを飼い始めました。4月は5匹だったのが、今では30匹以上に。帰宅後ぼんやり眺めていると、日中の慌ただしさを忘れ、心がほんの少しだけ(笑)穏やかになります。



安全と整備技術の さらなる向上

オートライフセンター所長
和田 寛

お客さまからの信頼により 大幅増収増益を獲得

第72期は、数十年ぶりに新入社員を受け入れたことで、重要課題「新入社員の整備育成」を念頭に、けがなく一人前になるよう育ててきました。整備技術はまだですが、素直な一面が安全な行動として社員間でも浸透しており、今後も大いに期待しています。

業績においては、コロナ禍を予測した目標ではありましたが、客先への努力の上向き業績の成果が高額案件の依頼につながり、新車販売では7件と、第72期の売上収益の大幅増収増益へとつながりました。新規顧客の獲得は難しかったものの、既存のお客さまを大事にしていく営業努力により、大きな成果となりました。

人材育成・収益確保・安全の 3つの目標を掲げる

第73期の重点目標は、①新入社員・

3年未満の社員・派遣社員の人材育成
②目標売上・収益の確保③休業災害ゼロです。

①人材育成

オートライフセンターは、多種多様な自動車や建設機械など幅広く整備・修理を行っています。また、ほとんどが一人作業であり、育成においてはベテランに付いてのマンツーマン作業です。共に整備をしながらの育成となり、本人のやる気で成長します。まずは、基本を学び応用できる整備士として育てていきます。

②目標売上・収益の確保

客先に出向き、打合せの終了後に何かほかにオートライフセンターでできる作業がないか、自分の目で模索して、高額案件の受注につなげます。

③休業災害ゼロ

新入社員と派遣社員の安全確保について、全員が協力してリスクの低減を目指しています。人が動くことでリスクが増えます。そのリスクを減らすため、日々コミュニケーションを取り、是正に

努めます。

以上のように安全第一を継続するとともに、レベルが高い整備士として育成していきます。

Recent Favorite



愛犬

現在コロナ禍で、孫とも会えず寂しい思いですが、わが家には毎日心を癒やしてくれる愛犬がいます。娘が昨年飼いはじめ、7月でやっと1年が経ちます。愛くるしくて、とても懐いてくれています。

シリコンウェハー事業部長
永田 竜也



持
 続
 的
 成
 長
 プ
 ラ
 ン
 を
 具
 体
 化

**増収・増益に加えて
 生産・品質・コスト改善にも成果**

第72期は、コロナ禍の経済影響が懸念されましたが、半導体は5Gデータセンター投資、ゲーム・家電・ノートPCなどの需要が増加し、成長市場で推移しました。再生ウェハーの需要も増加し、シリコンウェハー事業部の業績は前期比で増収・増益となりました。シリコンウェハー事業部の皆さんには、コロナ禍においても生産や品質、コストの改善に積極的に取り組んでいただき、各種記録の更新などさまざまな成果が得られたことに感謝します。

安全面では、休業・不休業災害ゼロの目標を達成しましたが、軽処置災害やヒヤリハットは増加傾向にあります。災害防止のためにそれぞれの職場で何が必要なかを問い続けて、適切な対策を実行していきましょう。

**要求に応える環境整備と
 継続課題の進化を図る**

半導体産業の長期的な成長が見込まれるなか、新中期における事業の持続的成長プランを具体化し、その上で第73期の業務計画を着実に推進していきます。計画通りの設備導入と早期戦力化でお客さまのご要求に応えるとともに、安全、品質、生産性、省力化など継続課題については、前期改善実績をベースにさらなる進化を図ります。

なお、コロナ禍でコミュニケーションは不自由な状況が続きますが、ハード・ソフト両面で工夫を重ね、風通しのよい快適な職場づくりに取り組んでいきましょう。

Recent Favorite



体組成計

今年、体重MAX値を記録したのを機に、体組成計を購入。色々測れてデータはスマホへ自動転送。アプリで日、週、月ごとのグラフを表示してくれるので、客観的にダイエット効果を確認でき、無精な私には合っています。

競合他社との
差別化と社員の養成大阪事業所長
大貝 満コロナ禍も追い風
人材育成と安全面を強化

大阪事業所にとって、第72期は特別な状況となりました。主要なお客さまである大阪製鐵(株)殿の操業において、コロナ禍で各産業が低迷する中でも増産を継続。さらに設備投資の実行もあり、46千t/月クラスの出鋼を確保できたことや投資案件の工事を受注できたことで、新型コロナウイルスの影響をほぼ回避できました。メンテナンス事業も、影響は皆無でした。感染防止対策で苦労したものの、3年越しのコース関係継続工事が完工できたことも追い風となりました。

逆に、追い風の影響で事業所要員はフル回転となり、次期を担う人材の採用や育成が遅れる結果となりました。

安全成績についても、小規模な事業所の割には不休3件、ヒヤリ3件、通勤災害2件と合計8件の災害が発生していることは猛省しなくてはなりません。

広工種への対応と安全で
戦略的に事業展開

第73期ですが、現段階では第72期並みの工事量は確保できておらず、期末に採用した要員の育成も実行します。今一度、間接費も含めたコストの愚直な削減が必要であることは言うまでもありません。同時に、出鋼量情報の早期収集とメンテナンス案件のリハブ工事などを確実に受注します。売上確保が一番の課題です。最近では土木案件への対応も模索しており、広工種への対応により競合他社と差別化を進める所存です。

戦略的に事業展開するためには、まず安全です。第72期の猛省対応の中で各災害事案を深掘りし、対策について事業所内で水平展開を行いました。中途・新人を含め要員は確保されつつありますが、経験が浅い人が多い状態です。直近の災害情報でも経験の浅い人をいかにベテラン層で守るかが問われると認識して安全活動を展開しています。

Recent Favorite



ネットフリックス

ネットフリックスにはまっています。映画はもちろんですが、海外の連続ドラマなど制作費がかかっているものもあり、興味深いです。大量に配信されているので、飽きません。

生き生き働いている若手社員のON/OFFを大解剖!
毎号、各部門の10代・20代の社員をクローズアップします。

観察眼を武器に
見逃しゼロへ!

ON

落ち着いた
ショベル運転が光る

八幡支店 選炭・物流課の物流系統を担当し、ショベルローダー(以下ショベル)で石炭やコークスを運搬しています。安全と効率を意識して臨み、目標のトン数を時間内に運搬できたときは、大きな達成感があります。

職場に若手は私一人ですが、先輩たちが可愛がってくれ、雰囲気が良いので楽しいです。



合図を出すタイミングなど、スムーズに動けるように考えながら運転

ON

受賞につながる
広い視野

初心を忘れず、常に周りを見て仕事に取り組んでいます。先日はショベル運転中、偶然ベルトコンベアの近くを通りかかった際、いつもと様子が違うことに気づき、すぐに報告。主管工場長から直接賞状をいただき、大変励みになりました。

課長から、よく安全ポイントの質問を出されるので、全て答えられるようになりたいです!



受賞は励みに。今後も広い視野を持ち、周囲を確認しながら行動します(右端が梶原さん)

八幡支店 選炭・物流課
かじわら えいしゅう
梶原 永州さん(20歳)

2020年4月に入社。ショベル運転を主業務として任される未来のエース。愛される性格で、仕事の飲み込みが早いと上司も絶賛。身体障害者野球で侍ジャパンを目指す。

睡眠 10%

仕事と野球のためにも体力チャージ

野球 50%

現在は2つのチームで練習中

友人と遊ぶ 40%

休日は友人とお出かけ

梶原さんの
元気の素

私も応援!



人柄も仕事も安心できる

天本 弘憲係長

朗らかで素直な性格で、仕事に対する熱意は新人とは思えないほど高いです。先日も業務中(ショベル運転中)にベルトコンベアのトラブルを発見し、主管工場から「事故未然防止表彰」を受けました。非常に見どころのある期待のホープです!

OFF

侍ジャパンに入りたい

小学1年生から野球を始め、現在も続けています。野球を通して、礼儀や視野の広さが身に付きました。これまで、キャッチャー以外のポジションは全て経験。生まれつき左手が小さいため、社会人になってからは身体障害者野球のチームに所属しています。守備が得意で、侍ジャパンに入ることが目標です。



濱田重工との縁は、小学・高校時代の監督たちからの紹介でした



OFF

たっぷり睡眠で
元気をチャージ

休日は、友人と遊んだりドライブしたりと、外出することが多いです。友人と心靈スポットに行ったことも。一人で映画館に行くときは、ホラー映画を見てしまいます。

心身の健康を保つ秘けつは、ポジティブさと睡眠です。毎日22時頃には就寝。ベッドに入ると、10分以内には寝付けます!



一人暮らしで健康には気を付けています。自炊も始めました

◆次号は君津支店 窯炉整備課のKirari輝く人をご紹介します。